

【最終公表・松浦海区】推薦を受けた者及び募集に応募した者に関する情報

区分	推薦を受けた者及び募集に応募した者							推薦者							推薦又は応募の理由		
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	漁業経営の状況	氏名又は名称	代表者の氏名	役職	職業	年齢	性別	設立目的		構成員の数	構成員の資格
漁業者委員	川崙和正	団体役員(佐賀玄海漁協代表理事組合長)	68	男	S 46.04～ H13.06～H24.03 H15.06～H18.05 H18.06～H24.07 H13.06～ H16.08～ H24.08～ H24.04～ R05.05～ R02.07～ 一本釣り漁業に従事 呼子町漁業協同組合代表理事組合長 佐賀県玄海漁業協同組合連合会 理事 佐賀県玄海漁業協同組合連合会 代表理事会長 佐賀県信用漁業協同組合連合会 理事 松浦海区漁業調整委員会 委員 佐賀県連合海区漁業調整委員会 会長 佐賀玄海漁業協同組合 代表理事組合長 全国海区漁業調整委員会連合会 副会長 佐賀県JF共済推進本部 本部長	漁業者	—	佐賀玄海漁業協同組合	川崙和正	代表理事組合長	—	—	—	水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行う団体	695	組合の地区内に住所もしくは事業所を有し、漁業を営み又はこれに従事する漁民等	川崙和正氏は昭和46年より一本釣り漁業に従事し、玄海地区の漁業の状況をよく理解しております。 また、平成13年6月に呼子町漁業協同組合長に就任し、平成18年6月からは佐賀県玄海漁業協同組合連合会の代表理事会長を2期6年間努め、優れた調整能力を有しています。 また、平成24年4月佐賀玄海漁業協同組合設立時には代表理事組合長に就任し、指導力に優れた玄海地区を代表する人物といえます。 以上のことから、玄海地区の漁業調整委員に推薦するものです。
	荒巻信弘	漁業団体役員(佐賀玄海漁協代表監事)	58	男	S 57.04～S 60.03 S 60.04～ H07.05～現在 H21.06～H24.03 H24.04～R03.12 R04.01～ R04.06～現在 R04.07～現在 唐津工業高等学校卒 漁業に従事 浜崎漁業協同組合 正組合員 浜崎漁業協同組合 監事 佐賀玄海漁業協同組合 浜崎支所運営委員 佐賀玄海漁業協同組合 浜崎支所運営委員長 佐賀玄海漁業協同組合 代表監事 松浦海区漁業調整委員会 委員	漁業者	吾智網漁業 刺網漁業等	佐賀玄海漁業協同組合	川崙和正	代表理事組合長	—	—	—	水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行う団体	695	組合の地区内に住所もしくは事業所を有し、漁業を営み又はこれに従事する漁民等	荒巻信弘氏は、吾智網漁業や刺網漁業に37年間従事し、浜崎地区の漁業の状況をよく理解しています。 また、玄海地区の佐賀玄海漁業協同組合浜崎支所の運営委員長を現在も努めており、優れた調整能力を有しています。 さらに、佐賀玄海漁業協同組合では、現在、代表監事を努めており、組合員の信頼も厚く、かつ指導力にも優れた、浜崎地区又は玄海地区を代表する人物といえます。 以上のことから、松浦海区の漁業調整委員に推薦するものです。
	坂本安則	団体役員(佐賀玄海漁協理事)	70	男	S 43.04～S 45.03 S 45.04～S 53.04 S 53.05～H30.02 H03.06～H09.01 H09.02～H21.05 H21.06～H24.03 H20.08～現在 H24.04～現在 国立唐津海員学校高等科卒 日本郵船株式会社 旧唐房漁業協同組合正組合員、中型まき網漁業 旧唐房漁業協同組合理事 旧唐津市漁業協同組合 理事 旧唐津市漁業協同組合 代表理事組合長 松浦海区漁業調整委員会 委員 佐賀玄海漁業協同組合副組合長、理事 唐津市統括支所運営委員長	漁業者	—	佐賀玄海漁業協同組合	川崙和正	代表理事組合長	—	—	—	水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行う団体	695	組合の地区内に住所もしくは事業所を有し、漁業を営み又はこれに従事する漁民等	坂本安則氏は、40年間中型まき網漁業に従事し、唐津地区の漁業の状況を熟知し、よく理解しています。 また、唐津地区の旧唐房漁業協同組合理事、旧唐津市漁業協同組合代表理事、代表理事組合長を経験し、優れた調整能力を有しています。 さらに、佐賀玄海漁業協同組合では、平成24年から令和4年に至るまで副組合長を経験され、現在においても佐賀玄海漁業協同組合理事と唐津市統括支所運営委員長を兼務され、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れた、唐津地区及び玄海地区を代表する人物といえます。 以上のことから、松浦海区の漁業調整委員に推薦するものです。
	浦丸清廣	団体役員(佐賀玄海漁協理事)	75	男	S 40.03～ S 40.04～ H21.06～H24.03 H24.04～R04.05 R04.06～ R04.06～ 鎮西町立馬渡島中学校卒 馬渡島漁業協同組合正組合員 鎮西町漁業協同組合 理事 佐賀玄海漁業協同組合鎮西町統括支所運営委員 佐賀玄海漁業協同組合鎮西町統括支所運営委員長 佐賀玄海漁業協同組合 理事	漁業者	一本釣漁業 延縄漁業	佐賀玄海漁業協同組合	川崙和正	代表理事組合長	—	—	—	水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行う団体	695	組合の地区内に住所もしくは事業所を有し、漁業を営み又はこれに従事する漁民等	浦丸清廣氏は、59年間一本釣漁業、延縄漁業に従事し、鎮西町地区の漁業の状況をよく理解しています。 また、鎮西町漁業協同組合では、平成21年から理事を経験し、引き続き佐賀玄海漁業協同組合鎮西町統括支所の運営委員長を努めており、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れた、鎮西町地区及び玄海地区を代表する人物といえます。 以上のことから、松浦海区の漁業調整委員に推薦するものです。
	川添光尚	団体役員(小川島漁協代表理事組合長)	69	男	S 46.03～ S 46.04～ H19.06～H22.06 H22.06～H25.06 H28.06～R01.06 R01.06～R04.06 R04.06～現在 呼子町立小川中学校卒 一本釣漁業に従事 小川島漁業協同組合 理事 小川島漁業協同組合 代表監事 小川島漁業協同組合 監事 小川島漁業協同組合 理事 小川島漁業協同組合 代表理事組合長	漁業者	一本釣漁業	佐賀玄海漁業協同組合	川崙和正	代表理事組合長	—	—	—	水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行う団体	695	組合の地区内に住所もしくは事業所を有し、漁業を営み又はこれに従事する漁民等	川添光尚氏は、53年間一本釣漁業に従事し、小川島地区の漁業の状況をよく理解しております。 また、小川島漁業協同組合では、平成19年より理事を経験し、平成22年には代表監事も経験され、優れた調整能力を有しています。 さらに、令和4年より小川島漁業協同組合代表理事組合長を努めており、組合員の信頼も厚く指導力にも優れた人物といえます。 以上のことから、玄海地区の漁業調整委員に推薦するものです。
								小川島漁業協同組合	川添光尚	同上	—	—	—	同上	76	同上	

区分	推薦を受けた者及び募集に応募した者							推薦者							推薦又は応募の理由		
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	漁業経営の状況	氏名又は名称	代表者の氏名	役職	職業	年齢	性別	設立目的		構成員の数	構成員の資格
漁業者委員	宮崎雅司	漁業 団体役員(佐賀玄海漁協理事)	65	男	S51.04～S54.03 第一経済大学卒 S54.04～H24.03 肥前漁業協同組合正組員 H24.04～現在 佐賀玄海漁業協同組合正組員 R01.06～現在 佐賀玄海漁業協同組合理事 R01.06～現在 佐賀玄海漁協 肥前統括支所運営委員長 R03.04～現在 松浦海区漁業調整委員会 委員	漁業者	真珠養殖 かき養殖	佐賀玄海漁業協同組合	川崎和正	代表理事組合長	—	—	—	水産業協同組合法に基づき組員が協同して経済活動を行う団体	695	組合の地区内に住所もしくは事業所を有し、漁業を営み又はこれに従事する漁民等	宮崎雅司氏は、34年間真珠養殖漁業に従事し、肥前地区の漁業の状況をよく理解しています。また、玄海地区の佐賀玄海漁業協同組合肥前統括支所の運営委員長を現在も務めており、優れた調整能力を有しています。さらに、佐賀玄海漁業協同組合では、現在も理事を務めており、組合員の信頼も厚かつ指導力にも優れ、玄海地区を代表する人物といえます。以上のことから、松浦海区の漁業調整委員に推薦するものです。
	坂口正人	漁業 団体役員(大浦浜漁協代表理事組合長)	72	男	S39.04～S42.03 肥前町立切木中学校卒業 H06.05～現在 大浦浜漁業協同組合正組員 H09.05～H12.06 大浦浜漁業協同組合 監事 H12.06～H23.03 大浦浜漁業協同組合 理事 H23.03～現在 大浦浜漁業協同組合 代表理事組合長 H25.04～現在 松浦海区漁業調整委員会 委員	漁業者	かき養殖 なまこ桁網 採介藻	佐賀玄海漁業協同組合	川崎和正	代表理事組合長	—	—	—	水産業協同組合法に基づき組員が協同して経済活動を行う団体	695	組合の地区内に住所もしくは事業所を有し、漁業を営み又はこれに従事する漁民等	坂口正人氏は、昭和42年3月、中学校卒業から現在まで漁業に従事し、大浦浜地区の漁業の状況をよく理解しています。また、大浦浜漁業協同組合の監事を平成9年から、また理事を平成12年から経験し、平成23年から現在まで代表理事組合長を務めています。組合員の信頼も厚かつ指導力にも優れ、大浦浜地区を代表する人物といえます。以上のことから、松浦海区の漁業調整委員に推薦するものです。
								仮屋漁業協同組合	牧元義博	同上	—	—	—	同上	60	同上	
							外津漁業協同組合	加納貢章	同上	—	—	—	同上	48	同上		
学識経験委員	伊藤史郎	(公社)玄海栽培漁業協会専務理事	68	男	S56.03 長崎大学水産学部 修士課程中退 S56.04～H8.03 佐賀県庁入庁 栽培漁業センター、佐賀県水産試験場(技師、特別研究員) H7.03 長崎大学 水産学博士取得 H08.04～H17.03 有明水産振興センター(特別研究員、係長) H15.03～H18.12 環境省 有明海・八代海総合評価委員会委員 H17.04～H23.03 水産課、海区漁業調整委員会(副課長、技術監、海区事務局長) H23.04～H25.03 玄海水産振興センター(所長) H23.04～H25.03 生産振興部水産課(課長) H27.04～H29.03 有明水産振興センター(所長)、定年退職 H29.06～現在 公益社団法人 佐賀県玄海栽培漁業協会専務理事	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	玄海及び有明海の現地機関においては、水産資源の生態解明や、栽培漁業等の技術開発、普及指導等に携わりました。また、本庁水産課では、現地研究機関で得られた様々な知識や経験を活かし、栽培漁業や、漁場造成事業等、漁家経営安定のための各種水産振興事業の創設にも携わり、漁業生産の向上に向け取り組むとともに、現場海域での様々な漁業調整案件に携わってきました。有明水産振興センター退職後は、栽培漁業協会の専務理事として、玄海地区の資源管理を含めた栽培漁業の推進に携わっております。今回、これらの現場での知識や経験と、本庁での漁業調整の業務経験を踏まえ、玄海地区の漁業振興に貢献したいと考え、漁業調整委員の募集に応募しました。
	福良繁一	経営者 (㈱ヤマフ)	45	男	H14.04～H23.05 株式会社ヤマフ入社 H30.05～H31.04 同社 取締役就任 H31.04～現在 同社 代表取締役社長就任 H30.08～Fuliang Wings株式会社設立 R01.07～代表取締役社長就任 R01.10～株式会社五島ライカンパニー設立 代表取締役社長就任 R03.04～現在 同社を㈱五島ヤマフへ社名変更 代表取締役社長就任 松浦海区漁業調整委員会 委員	—	—	佐賀玄海漁業協同組合	川崎和正	代表理事組合長	—	—	—	水産業協同組合法に基づき組員が協同して経済活動を行う団体	695	組合の地区内に住所もしくは事業所を有し、漁業を営み又はこれに従事する漁民等	福良繁一氏は、水産物加工・流通・販売に関する業務を営む株式会社ヤマフの代表取締役として活躍し、会社の理念として、玄海地区全体の水産業の浮揚を意識した水産経営を行っており、具体的には、玄海漁協魚市場の仲買として積極的に地場水産物の利用に努めるとともに、玄海地区の漁協及び地区の商工関係者と連携し、水産物の加工販売を積極的に行っております。さらに、平成27年4月からは佐賀玄海漁業協同組合のアドバイザー顧問として漁協の販売指導を行っております。以上のことから松浦海区の漁業調整委員に推薦するものです。
中立委員	池田宏子	大学等 非常勤講師	58	女	H04.04～現在 佐賀女子短期大学 非常勤講師 H10.04～H11.05 西南学院大学 非常勤講師 H12.04～H13.03 精華女子短大 非常勤講師 H13.04～現在 香蘭女子短期大学 非常勤講師 H22.04～H30.03 長崎県立大学佐世保校 非常勤講師 H26.04～現在 国立佐世保高等専門学校 非常勤講師 H28.04～現在 福岡女学院大学 非常勤講師 H22.10～現在 佐賀地方裁判所 調停員、参与員、司法員 R06.04～現在 佐賀県 アバンセ 理事 R06.04～現在 西九州大学 非常勤講師	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	私は、男女共同参画に関する活動を行っています。また、松浦海区の委員を平成16年から務め、利害関係のない公平な立場での発言者として、当該海区の漁業権漁業及び許可漁業に関する総合的な問題や、隣県との複雑な漁業調整問題の円満な解決に貢献してまいりました。これまでの活動に基づく知見を活かし、改正漁業法に基づく新たな漁業経営の取組みが円滑に進み、松浦海区で操業される漁業者が経営的に安定し、地区全体の漁業が持続的に発展できるよう貢献したいと考えております。以上のことから、松浦海区の漁業調整委員の募集に応募するものです。

【最終公表・佐賀県有明海区】推薦を受けた者及び募集に応募した者に関する情報

区分	推薦を受けた者及び募集に応募した者							推薦者							推薦又は応募の理由		
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	漁業経営の状況	氏名又は名称	代表者の氏名	役職	職業	年齢	性別	設立目的		構成員の数	構成員の資格
漁業者委員	西久保敏	漁業	68	男	H03.01～現在 佐賀県有明海漁業協同組合正組員 H13.05～H19.03 東与賀町漁業協同組合監事 H19.04～H26.06 佐賀県有明海漁協東与賀町支所運営委員 H26.06～現在 佐賀県有明海漁協東与賀町支所運営委員長 H29.06～R02.06 佐賀県有明海漁業協同組合理事 R02.06～現在 佐賀県有明海漁業協同組合代表理事組合長 H28.08～現在 佐賀県有明海区漁業調整委員会委員	漁業者	のり養殖	佐賀県有明海漁業協同組合	西久保敏	代表理事組合長	—	—	—	水産業協同組合法に基づき組合員の経済的地位の向上を行う為の団体	1677	組員	西久保敏氏は、平成3年より33年間組員として漁業に従事し、佐賀県有明海区の漁業に精通しています。 平成13年から平成19年まで東与賀町漁協の監事を務められ、平成19年から平成26年まで運営委員を務め、その後引き続き東与賀町支所運営委員長に就任されている。 平成29年からは、佐賀県有明海漁業協同組合の理事を務め、令和2年には代表理事組合長に就任され、組員からの信頼も厚く指導力に優れております。 また、平成28年から佐賀県有明海区漁業調整委員会委員も務められており、優れた調整能力を有しています。 以上のことから、佐賀県有明海区漁業調整委員に推薦するものです。
	弟子丸充弘	漁業	62	男	S54.03 佐賀私立龍谷高等学校卒業 S54.04～H19.03 諸富町漁業協同組合正組員 H19.04～現在 佐賀県有明海漁業協同組合 諸富町支所正組員 H29.07～R05.06 佐賀県有明海漁協諸富町支所運営委員 R05.07～現在 佐賀県有明海漁協諸富町支所運営委員長	漁業者	のり養殖	同上	同上	同上	—	—	—	同上	同上	同上	弟子丸充弘氏は、昭和54年より45年間組員として漁業に従事し、東部地区の採貝漁業に精通しています。 平成29年から令和5年までの6年間、諸富町支所の運営委員を務められ、令和5年7月から諸富町支所の運営委員長に就任し、組員からの信頼も厚く指導力に優れており、東部地区を代表する人物であるといえます。 以上のことから、佐賀県有明海区漁業調整委員に推薦するものです。
	中島浩徳	漁業	62	男	S55.03 佐賀私立龍谷高等学校卒業 S62.06～H26.06 佐賀県有明海漁業協同組合正組員（旧南川副） H26.06～現在 佐賀県有明海漁業協同組合南川副支所運営委員 R05.06～現在 佐賀県有明海漁協南川副支所運営委員長 R05.06～現在 佐賀県有明海漁業協同組合理事	漁業者	のり養殖	同上	同上	同上	—	—	—	同上	同上	同上	中島浩徳氏は昭和62年より37年間組員として漁業に従事し、東部地区の採貝漁業に精通しています。 平成29年から令和5年までの9年間、南川副支所運営委員を務められ、令和5年6月から南川副支所の運営委員長に就任し、組員からの信頼も厚く指導力に優れており、東部地区を代表する人物であると言えます。 以上のことから、佐賀県有明海区漁業調整委員に推薦するものです。
	香月博司	漁業	55	男	S62.03 佐賀私立龍谷高等学校卒業 H08.04～H19.03 旧佐賀市漁業協同組合正組員 H19.04～現在 佐賀県有明海漁業協同組合正組員 R02.06～R05.06 佐賀県有明海漁業協同組合佐賀市支所運営委員	漁業者	のり養殖 刺網漁業 採貝漁	同上	同上	同上	—	—	—	同上	同上	同上	香月博司氏は平成8年より28年間組員として漁業に従事し、ノリ養殖業や夏場は刺網漁業などの漁船漁業も行いなど、中部地区の漁業の状況をよく理解しています。 また、令和2年6月から令和5年6月までの4年間、佐賀市支所の運営委員を務められ、組員からの信頼も厚く指導力に優れており、中部地区を代表する人物であると言えます。 以上のことから、佐賀県有明海区漁業調整委員に推薦するものです。
	筒井正継	漁業	48	男	S07.03 佐賀県立多久工業高等学校卒業 R04.11～現在 佐賀県有明海漁業協同組合正組員	漁業者	のり養殖 あんこう網漁業	同上	同上	同上	—	—	—	同上	同上	同上	筒井正継氏は、29年間ノリ養殖業に従事し、夏場は、小型機船船曳網漁業やあんこう網漁業などの漁船漁業も行いなど、福富町地区の漁業の状況をよく理解しています。 また、佐賀県有明海漁業協同組合福富町支所では、令和4年に父より事業を承継し、正組員として漁業を営んでおり、組員の信頼も厚く、かつ指導力に優れており、福富町地区を代表する人物であると言えます。 以上のことから、佐賀県有明海区漁業調整委員に推薦するものです。
	中島 龍	漁業	58	男	S60.03 佐賀県立塩田工業高等学校卒業 H13.09～現在 鹿島市漁業協同組合正組員 H23.06～R02.06 佐賀県有明海漁業協同組合鹿島市支所運営委員 R02.06～現在 佐賀県有明海漁業協同組合鹿島市支所運営委員長 R02.06～R05.06 佐賀県有明海漁業協同組合理事 R05.06～現在 佐賀県有明海漁業協同組合副組合長 R03.04～現在 佐賀県有明海区漁業調整委員会委員	漁業者	のり養殖	同上	同上	同上	—	—	—	同上	同上	同上	中島龍氏は平成13年より23年間組員として漁業に従事し、西部地区の漁業に精通しています。 平成23年より鹿島市支所の運営委員を務め、令和2年には鹿島市支所の運営委員長並びに佐賀県有明海漁業協同組合の理事に就任され、令和5年には鹿島市支所の運営委員長並びに佐賀県有明海漁業協同組合に就任され、組員からの信頼も厚く指導力に優れており、西部地区を代表する人物であると言えます。 以上のことから、佐賀県有明海区漁業調整委員に推薦するものです。
	大堀幸弘	漁業	68	男	H10.04～H19.03 旧大浦漁業協同組合正組員 H19.04～現在 佐賀県有明海漁業協同組合正組員 H11.06～H15.06 大浦漁業協同組合水産振興研究部部长 H20.07～H26.06 佐賀県有明海漁業協同組合大浦支所運営委員	漁業者	刺網漁業	同上	同上	同上	—	—	—	同上	同上	同上	大堀幸弘氏は平成10年より26年間組員として漁業に従事し、南部地区の漁業に精通しています。 平成11年から平成15年まで、旧大浦漁協水産振興研究部長を務められ、平成20年から平成26年まで大浦支所の運営委員を務めるなど、組員からの信頼も厚く、指導力に優れており、また、大浦地区漁船漁業の状況をよく理解されており、南部地区を代表する人物であると言えます。 以上のことから、佐賀県有明海区漁業調整委員に推薦するものです。

区分	推薦を受けた者及び募集に応募した者							推薦者							推薦又は応募の理由		
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業者又は漁業従事者であるか否かの別	漁業経営の状況	氏名又は名称	代表者の氏名	役職	職業	年齢	性別	設立目的		構成員の数	構成員の資格
学識経験委員	竹下泰彦	団体職員	70	男	S 54. 03 徳島大学工学部土木工学科卒業 S 54. 04～H19. 03 川副町役場 水産・土地改良・建設部門を担当 H19. 04～H19. 09 川副町役場水産課長 H19. 10～H22. 03 佐賀市水産振興課長 H22. 04～H23. 03 佐賀市環境下水道部副部長兼環境課長 H23. 04～H24. 03 佐賀市環境下水道部長 H24. 04～H26. 03 佐賀市環境部長 H26. 04～現在 佐賀県司法書士会事務局長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2003年～2004年「城原川流域委員会」公募委員として河川環境改善について検討した。 2005年～現在、NPO法人有明海ぐるりんネット会員・副代表として10年間にわたる冊子「有明海」の編集・出版や、「有明海検定試験」の作成、「全国干潟サミット」「東与賀干潟シンポジウム」など有明海の環境保全に係るイベント開催に関わる。 2012年～2013年佐賀市環境部長時代に、東与賀干潟のラムサール条約湿地登録を提起し、佐賀県や佐賀県有明海漁協に登録推進を働きかける。 2011年～現在、NPO法人嘉瀬川交流軸会員・理事として、嘉瀬川ダムの感謝祭、嘉瀬川河川敷の竹を利用した有明海の牡蠣産復活事業、水生昆虫の観察教室などに関わる。 有明海や佐賀平野の水環境等について、低平地研究会や技術フォーラムなど各種団体から依頼された講演を実施した。 2016年から現在、有明海区漁業調整委員会委員として漁業資源の調整に関わる。 2019年8月に佐賀県が主催した「森川海人っフェス」にパネリストとして登壇。2020年8月佐賀県環境サポーターに就任。 有明海は、閉鎖性海域の極めて浅い海に多くの河川が流れ込み、その栄養分が大きな干満によって適度に攪拌されるといういくつかの偶然が重なり、微妙なバランスでその生態系の豊かさを維持している。 については、有明海の環境保全を視野に入れて漁業調整の業務に関わりたい。
	川村嘉応	佐賀大学農学部 招聘教授	69	男	S 55. 03 長崎大学水産学部 修士課程修了 S 55. 04～ 佐賀県庁入庁 有明水産試験場研究調査課配属 S 55. 04～H12. 03 有明水産試験場（技師、特別研究員） H6. 04 愛媛大学 農学博士取得 H12. 04～H18. 03 有明水産振興センター（係長、副所長） H18. 04～H21. 03 県民環境部 有明海再生・自然環境課（副課長） H22. 04～H27. 03 有明水産振興センター所長、定年退職 H27. 04～H30. 03 有明水産振興センター 技術アドバイザー H30. 04～R04. 03 佐賀大学農学部 特任教授 R04～現在 佐賀大学農学部 招聘教授	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中立委員	山口夕妃子	佐賀大学芸術地域デザイン学部教授	54	女	H12. 10～H20. 09 名桜大学国際学部専任講師を経て助教授 H20. 04～H27. 03 長崎県立大学経済学部准教授を経て教授 H27. 10～現在 佐賀大学芸術地域デザイン学部教授	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	私は、マーケティング・流通を研究し、現在、マーケティング学会理事、日本流通学会副会長を努め、流通における諸問題に関し、研究を深める学会活動を行っています。 また、前任の長崎県立大学の時の、2008年から2012年には、公平な漁業管理と漁業者の保護の観点から、佐世保市中央卸売市場（水産物部）取引委員会の委員長を努めていました。 これまでの活動に基づく知見を活かし、利害関係のない公平な立場での発言者として、当該海区で操業される漁業者が経営的に安定し、地区全体の漁業が持続的に発展できるように貢献したいと考えております。 以上のことから、佐賀県有明海区の漁業調整委員の募集に応募するものです。